



ニュース 環境 NEWS

2023年10月号 (No.43)

環境清掃課
〒443-0105
西浦町口田土1番地
TEL 0533-57-3645
FAX 0533-57-3924

今回のテーマ

サステナブルファッション
に取り組みましょう

蒲郡市では地球温暖化防止対策に向けた取り組みとして、市民一人ひとりが地球温暖化問題に対する関心を高め、環境にやさしい行動をとっていただけるように、地球温暖化対策に関する様々な情報を、「環境NEWS」として月1回発行してまいります。

ファッション産業は、製造にかかるエネルギー使用量やライフサイクルの短さなどから環境負荷が非常に大きい産業と指摘されており、国際的な課題となっています。

衣服の生産から着用、廃棄に至るまで環境負荷を考慮したサステナブル（持続可能）なファッションへの取り組みは、近年急速に広がっています。消費者として、どのようにして改善できるかを考えていきましょう。

SUSTAINABLE FASHION

これからのファッションを持続可能に



#SUSTAINABLEFASHION

環境省
Ministry of the Environment

ファッションと日本国内の環境の現状

原材料調達から製造段階までに排出される環境負荷の総量（年間）

CO2排出量

水消費量

端材等排出量

+

化学物質による水質汚染

約90,000kt

約83億m³

約45,000t

👉衣服の製造には様々な資源が必要となり、環境負荷が発生します。

可燃ごみ・不燃ごみに出される衣類の量（年間）

家庭から手放される衣服の量は年間約75万トン、うち約50万トンがごみとして出されています。そのうち再資源化の割合はたった5%ほどです。



再資源化 5%
24,000t

焼却・埋め立て 95%
484,000t

👉衣服を資源として再活用することが求められています。

明日から私たちが取り組めるアクション（例）

今所有している一着をできるだけ長く着ましょう。

1年長く着ることで、日本全体で約4万t以上の廃棄量の削減につながります。



衣服のお直しやリペアを施すことで、思い入れのある一着を長く着ることができます。



古着やシェア・レンタルを活用しましょう。

みんなで着まわすことにより、1着の着用機会・期間が増加します。



私たちの約64%は所有する衣服の量を把握せず、服を購入しています。本当に必要か見極めてから服を買うようにしましょう。



衣服の作られ方に目を向けましょう。衣服に係るCO2排出量の45%以上が原材料調達によるものです。オーガニックコットンや再生原料などの素材を選択しましょう。

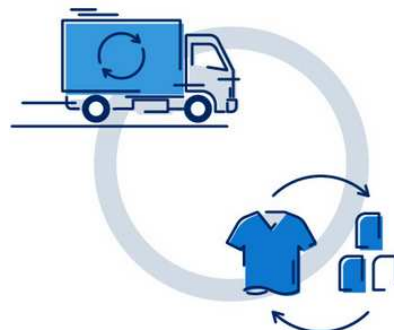


1年間に1回も着られていない衣服が1人あたり25枚もあると言われています。不要な衣服は定期的に有効活用・処分しましょう。



古着回収を行っている店舗を調べてみましょう。服一着が回収によりゴミとして廃棄・焼却されなければ、約0.5kgのCO2が削減されます。

その他、買取店・フリーマーケットの活用や寄付などの使い道がなければ、自治体のルールを確認して、資源回収に出しましょう。



出典：環境省ウェブサイト (https://www.env.go.jp/policy/sustainable_fashion/)

お問合せ先 蒲郡市環境清掃課 ゼロカーボンシティ推進室
TEL 57-3645 zero@city.gamagori.lg.jp